

中学生の部 最優秀賞

川口 葵子

私の祖父が生まれたのは、一九四二年、第二次世界大戦終戦時は四歳だったそうです。授業で戦争のことを学び、その時代に生きていた祖父に話を聞いてみましたが、よく覚えていないそうです。

戦争の体験や記憶が薄れていくことは、平和が日常になった証である一方、再び起こしてしまいう危険にもなります。

私達が学び、伝え続けることで平和を保っていきたいです。